

環境審議会大気環境部会（平成 28 年度第 3 回）委員意見整理表

※備考欄：①意見の趣旨を踏まえて対応済み、②今後反映予定、③今後検討

項目	委員意見	対 応	備考
第 6 章 方針 3 低炭素 まちづ くり	<p>施策展開の方針の方針 3 で「コンパクトなまちづくりを進める」と記載されているが、第 6 章でそれに対する対策が記載されていない。また、都市再生特別措置法や地域再生法等、様々な法律でコンパクト化の方針が示されているので、計画の中に何か書き込めないか。（新澤委員）</p>	<p><u>第 6 章 3 の「都市の低炭素化の促進」の 2 つ目の取組として以下を追加し、地域連携型都市構造のイメージ図を挿入</u></p> <p>○県が定める「都市計画区域マスタープラン」に基づく都市づくりの推進により、各都市機能集積地区の特色を生かした都市機能の分担と地区間のネットワーク化を図り、都市の低炭素化にも寄与する地域連携型都市構造化の実現を目指す。</p>	①
第 5 章 1 課題	<p>施策展開の課題の方針 1 の【運輸】について、いかに車の量を減らして効率化するかについても言及すべき。（河原委員）</p>	<p><u>【運輸】の 3 つ目の課題として以下の項目を追加</u></p> <p>○公共交通に比べ輸送量あたりの温室効果ガス排出量が多い自家用車への依存</p>	①
第 5 章 1 課題	<p>施策展開の課題の方針 2 について、太陽光発電と風力発電で「天候による発電量の急激な変化」を課題としてあげているが、これに対し県で取り組めることがあれば示すべき。（河原委員）</p>	<p><u>第 6 章 1 の【家庭部門】の「CO₂ 排出の少ないライフスタイルへの転換」の 6 つ目の取組として、以下を追加</u></p> <p>○蓄電池の導入等により、電力のピークカットや自家消費を促し、エネルギーを効率的に利用するスマートライフの普及を図る。</p> <p>（第 6 章 2 の「再生可能エネルギーの導入拡大」の対策の方向性として、安定電源として期待される小水力発電やバイオマス発電などの導入を促進し、バランスの取れた再生可能エネルギーの導入を図ることとしている。）</p>	①
第 5 章 1 課題	<p>施策展開の課題の方針 2 の【太陽光発電】について、「適地の減少等による導入ペースの鈍化」を課題としてあげているが、休耕田や未利用地等の適地がまだ残っている。（住友委員）</p>	<p><u>【太陽光】の 1 つ目の課題に下線部分を追記</u></p> <p>○<u>メガソーラーの適地減少等による</u>・・・</p>	①

<p>第5章 1 課題</p>	<p>施策展開の課題の方針4の【県産木材】について、「路網整備」以降が課題でそれ以前の部分は取組と思われる。ここでは課題のみ記載すべき。 (河原委員)</p>	<p><u>施策展開の課題の全てについて文言を整理</u> ※別紙参照</p>	<p>①</p>
<p>第6章 方針1 【産業 業務】</p>	<p>排出抑制計画・措置結果報告制度について、表からはエネルギー使用量が原油換算で1,500kL/年以上と未満との違いが分かりにくい。また、本文と表で内容に齟齬があると思われる。(新澤委員)</p>	<p><u>制度の概要を示した表を条例対象である「エネルギー使用量が原油換算で500kL/年以上」と要綱対象である「同500kL/年未満」に分けて、内容を整理</u></p>	<p>①</p>
<p>第6章 方針1 【産業 業務】</p>	<p>新たな基金のスキーム図が分かりにくい。 (新澤委員) 新たな基金に関し、クレジット化の取組内容が分かりにくい。(小林委員)</p>	<p><u>図のクレジットに係る矢印・文言を削除し、「また」以降の文章を以下に修正</u> ○また、CO₂削減・吸収分を基金拠出事業者等に移転する仕組みについて検討する。</p>	<p>①</p>
<p>第6章 方針1 【運輸】</p>	<p>「エコドライブの推進」のタイトルの括弧書きを本文中に移動させるべき。また、安全面に留意するよう「適切なアイドリングストップ」と記載すべき。(山根委員)</p>	<p><u>「エコドライブの推進」のタイトルの括弧書きの内容を説明文の中に移動</u> (「適切な」については、他との並びで割愛)</p>	<p>①</p>
<p>第6章 方針1 【運輸】</p>	<p>フィーダー交通という言葉は一般には浸透していないので用語解説に記載すべき。(河原委員)</p>	<p><u>「フィーダー交通」の文言を用いず、取組内容を修正</u></p>	<p>①</p>